

2. 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

子どもにとってあらゆる機会を通じて本に接することは、読書の楽しさを知るうえで大切です。豊中市では、図書館の他に子どもの読書に関わる事業を行う施設が多くあります。各施設はそれぞれの特色を活かしながら、読書に関連した催しを行っています。今後これらの取り組みをさらに充実し、子どもと保護者が本に親しむ機会を広げます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児 小中学生 15才以上 大人				豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	○市立図書館健康づくり推進課 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会	拡充	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内4カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔第2章6市立図書館にも掲載しています。〕
				乳幼児向けおはなし会「ほっとたいむ」	子育て支援センター	拡充	就学前の子どもと保護者を対象に、おはなし会を子育て支援センターで定期的に行う。 現在5センター中2センターで実施
				遊び提供の場での取り組み	子育て支援センター	拡充	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊び提供の場での読書活動(絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等)を推進する。 現在5センターで実施
				絵本講座の開催	○子育て支援センター 市立図書館	拡充	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。 現在5センター中1センターで実施
				「子育て総合支援事業」	幼児教育支援センターたんぽぽ	拡充	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。 全市立幼稚園(7園)実施
				「たんぽぽひろば」	幼児教育支援センターたんぽぽ	拡充	就学前の親子を対象に月2回または週1回遊びの提供の中で、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアター等を行うとともに、図書館、子ども文庫、関係機関を紹介する。また、地域の子ども文庫やボランティアの協力を得ておはなし会を実施する。 全市立幼稚園(7園)実施
				「たんぽぽ倶楽部」	幼児教育支援センターたんぽぽ	拡充	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。
				「親子の学び場」講座	幼児教育支援センターたんぽぽ	継続	毎月1回(土曜日)「親子の学び場」講座を実施する。その中で、読み聞かせや子どもと本に関する講座を行う。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	絵本等の貸出	幼児教育支援センターたんぽぽ	新規	幼児教育支援センターたんぽぽに図書スペースを新設し、「親子の学び場づくり」(たんぽぽひろば)の参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。
				情報相談(レファレンスサービス)	すてっぷ	継続	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。
				お父さん・おじいさんへの働きかけ	すてっぷ市立図書館	新規	お父さん、おじいさんに絵本への関心を広める機会の提供を行う。
				子育てグループ活動への支援	公民館	拡充	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。
				講座の開催	すてっぷ	新規	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。
				保護者向け講座の開催	公民館 公民分館	拡充	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。
				小学生のためのおはなし会	人権まちづくりセンター 少年文化館 すてっぷ	継続	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。
				図書リストの配布や子どもへの学習相談	〇すてっぷ 小・中学校 関係施設	継続	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校司書や教員を通してのレファレンスに応じる。

子どもの本や読書に関する情報提供

子どもに関わる施設では、講座などの催しや施設が作成するリーフレットを利用して、本や子どもの読書に関する情報を提供しています。今後、各施設で行われる行事などの情報を施設間で共有し、活用することで、さらに子どもと保護者が読書に親しむ機会を広げます。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	「たんぽぽ通信」	幼児教育支援センターたんぽぽ	拡充	年4回発行のたんぽぽ通信の中で、毎回絵本の紹介を掲載し、絵本に関する特集記事や図書館、子ども文庫に関する情報を掲載する。 現在市内公私立幼稚園・関連諸機関で配布
				子育て教室	公民館	拡充	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。

読書環境の整備

豊中市では、子どもに関わる施設に独自の図書室や図書コーナーが多くあります。新規購入や市立図書館の団体貸出サービスなどを利用して、子どもにとって魅力ある場をつくり、身近に本と接することができる環境を整えます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	絵本コーナーの設置	○健康づくり推進課 市立図書館	新規	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。
				絵本コーナーの充実	子育て支援センター	継続	絵本コーナーの充実、貸出し等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境づくりをする。
				絵本コーナーの設置	子育て支援センター	新規	地域支援保育士が配置されている施設において、絵本コーナーを新たに設置する。
				読書環境の充実	すてっぷ	新規	すてっぷのキッズコーナーやプレイルーム、情報ライブラリーの絵本を充実し、子どもが身近に絵本と親しむことができるようにする。
				絵本コーナーの充実	公民館	拡充	公民館のロビーや保育室にある絵本・紙芝居コーナーを充実する。
				図書室・図書コーナーの充実	人権まちづくりセンター 少年文化館 すてっぷ	拡充	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。
				図書コーナーの充実	すてっぷ	拡充	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。
				見学・交流会	関係施設	拡充	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所（園）、幼稚園や他の施設の見学を行う。
				本のある居場所づくり	青少年課 市立図書館	継続	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

子どもに関わる施設では、子どもの読書に関する行事が行われ、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供しています。これらの情報を施設間で共有し、活用することが必要です。そのために、市立図書館を含めた施設間で、子どもの読書についてのネットワークづくりに取り組み、情報交流や連携事業を進めます。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

子育て支援センター、留守家庭児童会、人権まちづくりセンター、少年文化館、男女共同参画推進センターすてっぷでは、職員やボランティアの協力による、おはなし会を行っています。子どもの本に関する情報や学習機会の提供を通じて、ボランティアの活動を支援し、子どもが本に親しむ機会を広げる取り組みを進めます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て支援センター	拡充	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居等を行うボランティア活動を育成・支援する。 現在5センター中2センターで実施
				出前おはなし会	すてっぷ	新規	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぷの自主グループが読み聞かせを実施する。
				研修の機会の提供	すてっぷ	新規	自主グループの活動を支援するため学習の機会を提供する。
				情報の提供	公民館	拡充	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。

子どもに関わる大人への啓発と研修

子どもに関わる施設では、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供しています。これらの取り組みを充実するために、子どもの読書の意義や大切さについて、理解と関心を深める研修を行います。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	職員研修	子育て支援センター	拡充	読書活動における居宅親子の現状や課題等についてセンター間で情報を共有し、互いの事業点検を行う。また各センターが実施する保護者向け講座に、他センターの職員も参加し意識を高める。
				職員研修	市立図書館職員研修所 関係施設	拡充	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中での読書の大切さを理解するための研修を行う。
				指導員研修	子育て支援課 市立図書館	新規	留守家庭児童会のおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取り組みを行う。

「えほんはじめまして」

豊中市の4か月児健診では、赤ちゃんとお母さんと保護者に、ふれあいと語りかけの大切さや絵本を一緒に読み合うことの楽しさを伝える取り組みが行われています。会場には、赤ちゃん向けの絵本がたくさんあります。健診を待つ間に「子どもの頃に、この絵本をよく読んでもらった」と懐かしみながら、赤ちゃんとお母さんと絵本を広げるとお母さんや、一緒に健診に来たお兄ちゃんが赤ちゃんに絵本を読んであげたり、みんなが自由に絵本を楽しんでいます。



健診が終わると、赤ちゃんが会場にやってきます。元気に泣いている赤ちゃん、お父さんに抱かれて気持ちよさそうに眠っている赤ちゃん、笑顔の赤ちゃん。笑い声や泣き声、話し声が広がった会場は、とても賑やかになります。赤ちゃんとお母さんは1組ずつ、図書館の職員とおはなしをします。絵本や子育てのこと等、ついつい話し込んでしまつて、赤ちゃんがすっかり寝てしまうこともしばしばあります。

職員が赤ちゃんに絵本を読むこともあります。絵本を開くと、じっと見る赤ちゃん。音の響きやリズムに合わせて体を揺らす赤ちゃん。にこにこ笑つて絵本に手を伸ばす赤ちゃん。赤ちゃんの様子をみて「絵本はまだ早いと思つていたけど、家でも一緒に楽しんでみます」とおっしゃるお母さんや「声を出して読んでもらうのって、すごく心地いいものですね」と話すお父さんがおられます。

赤ちゃんは「えほんはじめまして」で絵本や図書館、また、地域のお友達や大人に出会います。この出会いを大切に、今後も様々な取り組みを通じて、赤ちゃんのすこやかな成長と家庭でのふれあいの時間をお手伝いできたらと思います。

留守家庭児童会でのおはなし会

おはなしボランティアポケットは、豊中市立岡町図書館を拠点に活動している「絵本の読み聞かせ」のグループです。

月に1回約30分の絵本を中心としたプログラムを組み、主に小学校の留守家庭児童会でおはなし会を行っています。

子どもたちの様子は、学校により様々です。楽しみに待っている子もいれば、外遊びに出たかったのに…と言う子もいます。でも、おはなし会が始まると、楽しく聞いてくれます。「もう一回読んで！」とか「えーそんなんや！」とか、絵本の世界に引き込まれているようです。中には、膝にのってきたり、手をつないだりする子もいます。

新一年生を迎えた春、学校生活に慣れていないのか、居眠りする子もみられます。

夏頃になると、留守家庭児童会にも慣れてきます。昆虫や水遊びの絵本は子どもたちに特に人気があります。秋は、学校行事が沢山あり、子どもたちも落ちつかないように見えます。でも学校生活に即した絵本を紹介すると、よく聞いてくれます。三学期に入ると、身も心も成長し、長い絵本もしっかりと聞けるようになります。一年間に子どもたちに届けられるのはわずか30数冊です。その中の1冊でも2冊でも、子どもたちの心に残る本があればと思い、選書に力を入れています。

私たちは、絵本との出会いを通じて、子どもたちの心が、豊かに育まれることを願つて、これからも活動していきます。

施設紹介 子育て支援センター

地域における様々な子育て・子育て支援活動をサポートする施設として設置。学校に通うまでの子どもとその家庭を対象に、子育て講座の開催や、親子のふれあいを大切にした遊び、乳幼児の育児、食事、健康などについての情報提供や相談を行っています。平成 18 年(2006 年)3月現在、中核的施設としての子育て支援センターほっぺと市内4ヶ所の保育所内に地域子育て支援センターがあります。

施設紹介 幼児教育センターたんぼぼ

「幼稚園ってどんなところ？」そんな疑問にもおこたえしながら、たんぼぼでは、就学前の子育て・子育てを応援します。

各市立幼稚園のたんぼぼひろばでは、季節の遊びや絵本の読み聞かせなど就学前後の子どもと親の交流を深めるため「親子の学び場づくり」を行っています。また、月 1 回の講座では、親子クッキングやリトミック等を企画する他、教育相談や育児相談、「新米パパ・ママの語らいタイム」などを通じて、保護者の皆さんをバックアップしています。

また、平成 18 年度から図書貸出もスタート。人と人とのふれあいの場であるとともに絵本との出会いの場としても、幼児教育支援センターたんぼぼをご活用いただけます。

施設紹介 男女共同参画推進センターすてっぷ

すてっぷは、男女が性別にかかわらず、個性と能力を發揮し、責任を分かち合いながら共に歩む男女共同参画社会をめざすための施設です。すてっぷ情報ライブラリーは、男女共同参画社会の実現にむけた専門図書室です。